

博物館を利用した総合的な学習の時間 展開例

1 単元名

大昔から現在までの北九州はどう変わったの？ ～環境と生き物の変化～

2 本単元のねらいと手だて

- 大昔から現在までの北九州の環境やそこに生息する生き物を調べる活動を通して、環境問題に対して興味、関心をもち、未来の北九州市の環境を話し合うことで、コミュニケーション能力や、課題を解決する力を育成することができるようにする。
- 博物館で調べたことを図や表を用いて整理し、他者に分かりやすく伝えるように工夫する活動を通して表現力を養うことができるようにする。

3 本単元における博物館を活用することの有効性

- 復元模型や剥製などの資料を実際に観察することは、ただ写真や画像で調べることよりも、興味関心を喚起することや、理解を深めることができる。
- 情報量が多く、テーマごとに整理されているので、さまざまな視点から児童が見いだした課題を解決することができる。また、その情報を整理し表現する活動の素材としても適している。

4 目標

(ア) 課題解決への 関心・意欲・態度	北九州市の環境や、そこに生息する生物に関心をもち、自ら問題を見いだし、課題ととらえ主体的に追求しようとする。
(イ) 課題解決力	<ul style="list-style-type: none"> ・ 課題を設定し、それを調べるための見通しを立て、博物館の資料などから計画的に調べることができる。 ・ 自分や他者のグループとの発表や話し合いをする活動を通して、さまざまな視点から環境問題を考え、理解を深めることができる。
(ウ) 協同的に学ぶ力・ 表現する力	調べた情報を記録し、図や写真、表やグラフなど適切に活用してまとめ、他者に分かりやすく伝えるためにグループで発表の形式を考え表現することができる。
(エ) 自己をみつめる力	北九州市の一員として、環境問題に対して、これから生活する上で自分にできることを考える。

5 展開

主な学習活動・内容	指導・支援上の留意点	評価基準および評価方法
1 北九州の大昔の様子と今の様子を比べ、環境やそこに住む生物のちがいに興味をもち、現在の北九州市の様子について話し合う。 ② (1) 大昔の北九州を見て、現在の様子とどこがちがうか話し合う。 (2) 北九州の変化で疑問に思ったことや調べてみたいことを話し合い、課題を決定する。	○ 大昔から今までの北九州の地図や自然の写真などを提示し、環境や生物の移り変わりを捉えさせることを通して、現在の北九州の環境や生き物がどうなっているのか発問することで問題を見いだしさせるようにする。 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 北九州の生き物にはこんな恐竜までいたんだよ。 これらの写真（森林・湖・海）は全部、大昔の北九州だよ。 現在の北九州になるまで、どんなことがあったのかな。 </div>	(ア) 大昔の写真や生き物の様子から現在の北九州の環境や生き物がどうなっているのか興味・関心をもつことができる。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> (予想される児童の課題) 北九州の環境はどう変わっていったのか。 北九州の生物はどう変わったのか。(大昔からいる生き物、いない生き物など) 北九州の環境や生物が変化していった原因を調べる。 </div>		

<p>2 大昔から今までの北九州の変化で調べてみたいことを出し合い、グループで「いのちのたび博物館」で調べる計画を立てる。②</p> <p>(1) 自ら見いだした問題を話し合い、グループ分けをし、その課題を決定する。</p> <p>(2) 課題をかいけつするためには博物館のどこで何を調べればよいか話し合う。</p> <p>3 いのちのたび博物館で自分のグループの課題を調べる。②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在の北九州の環境・生物を調べる →自然発見館 ・大昔の北九州を調べる →エンバイラマ館 <p>4 調べたことをまとめる③</p> <p>(1) グループ内で調べたことを確認し、図や表などで整理する。</p> <p>(2) わかりやすく発表するために壁新聞などでまとめる。</p> <p>5 調べたことを発表する③</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>今の北九州になるまで、環境とそこに生息する生物は変化していった。</p> <p>環境の変化の要因は大陸が動いたことや気候が変わったことなどがある。</p> <p>現在の北九州は自然や生物に恵まれている。</p> </div> <p>6 今後の北九州と自分たちの生活について話し合う</p>	<p>○ 「いのちのたび博物館」の概要を事前に取り寄せたパンフレットなどで説明し、テーマごとに展示されていることを捉えさせた上で調べる計画をグループごとに立てさせるようにする。</p> <p>○ 必要に応じて写真を撮るなどの記録をしておく。</p> <p>○ 公共施設のマナーや集合時間などを守るように事前に指導をしておく。</p> <p>○ 博物館で分からなかったことがあれば、直接問い合わせたり、資料やインターネットを活用したりして補填するようにする。</p> <p>○ 各グループの発表から環境の変化によって生物が変化していることや環境と生物のつながりに気付いている児童の感想を取り上げるなどして、環境問題への関心を高める。</p> <p>○ カブトガニなど大昔から生息している生き物とその環境「曽根干潟」などに着目させ、環境を保全することの大切さに気付かせる。</p> <p>○ 北九州の自然や生物の豊かさに着目すると同時に環境の変化により、生物などが生息できなくなることを発表内容を振り返らせることで気がつかせるようにする。</p>	<p>(イ) いのちのたび博物館のホームページやパンフレットなどから、自分のグループの課題を調べるための順路や計画を立てることができている。</p> <p>(ウ) グループで協力して調べ、必要な情報を適切に記録することができている。</p> <p>(ウ) 友達に分かりやすく伝えるためにグループで発表の形式を考え表現することができる。</p> <p>(イ) 自分や他者のグループとの発表や話し合いをする活動を通して、さまざまな視点から環境問題を考え、理解を深めることができる。</p> <p>(エ) 北九州市の豊かな自然や生物を守るために、その一員として、環境問題に対して、これから生活する上で自分にできることを考えることができている。</p>
<p>・北九州には曽根干潟や平尾台など素晴らしい環境がたくさんあるね。だから生き物もたくさん生息しているんだね。</p> <p>・大昔の生き物がほとんどいないことから、環境が変わってしまうと生物は生活できないんだね。</p> <p>・北九州の環境や生物を守っていくために、自分にできることはどんなことかな？</p>		

6 博物館利用（本時）の展開

(1) 本時のねらい

- ・北九州市の環境や、そこに生息する生物の資料に関心をもち、進んで調べることができるようにする。
- ・自分の課題を調べるための見通しを立て、博物館の資料を計画的に調べ、記録することができるようにする。

(2) 展開 第3時

主な学習活動・内容	指導・支援上の留意点	評価基準および評価方法
1 前時の課題を振り返り、本時のめあてを確認する。	○ 本時のめあてを確認するとともに博物館の見学のマナーについて確認および指導をする。	
いのちのたび博物館で大昔から今までの北九州市の環境や生物について調べよう		
2 各グループで博物館を見学し、必要なことを記録していく。 ・現在の北九州の環境・生物を調べる →自然発見館 ・大昔の北九州を調べる →エンバイラマ館	○ グループで調べる内容を確認し、調べる場所で何を記録するのか各グループ確認してから見学をするように指導する。 ○ 調べる内容が、どの展示なのか分からない場合はパンフレットを活用するなどをして順路を確認するように支援する。  自然発見館	(ア) 自分のグループの課題を博物館の展示を通して主体的に追求しようとしている。 (行動観察)  エンバイラマ館
3 調べたことをグループで確認する。	○調べた内容が十分であるか確認させ、不十分な場合は、他の場所を見学するなどするように助言する。	(ウ) グループで協力して調べ、必要な情報を適切に記録することができている。 (行動観察、ノート分析)
 <p>北九州市の曾根干潟にはカブトガニなど他の環境ではみられない生き物が生息していることが分かったよ。</p>		
4 本時を振り返り、次時の見通しをもつ。	○本時に調べたことを振り返り、他グループが調べた内容に興味をもたせることで、お互いのグループが発表するように伝える。	